

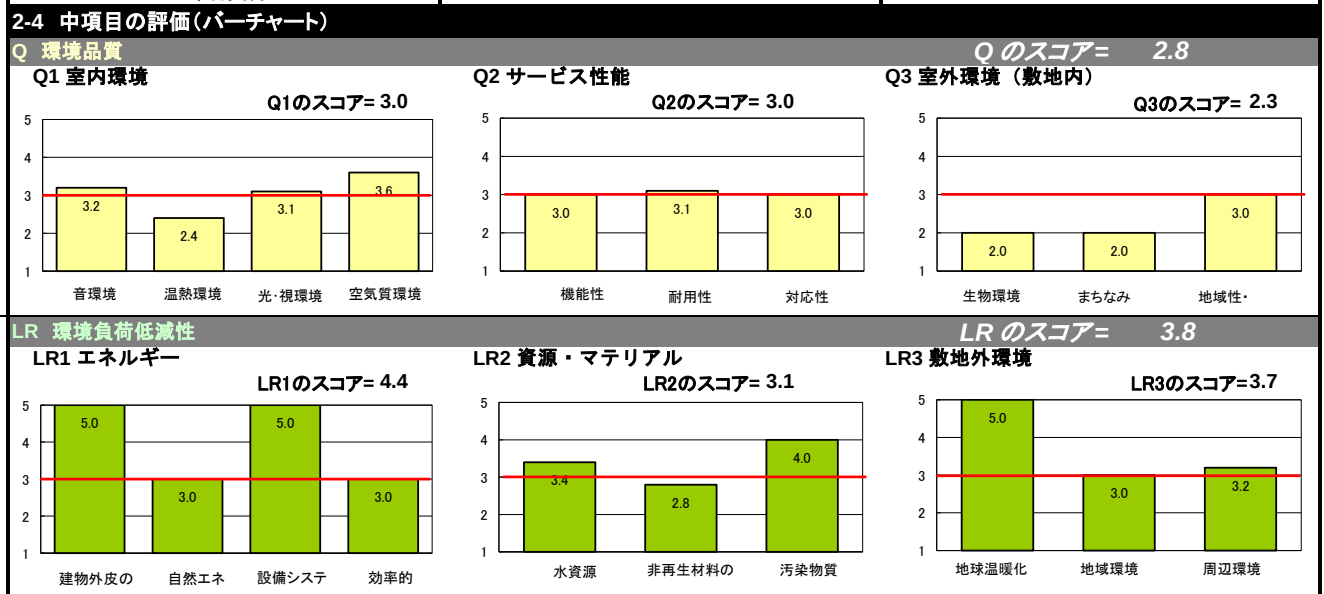
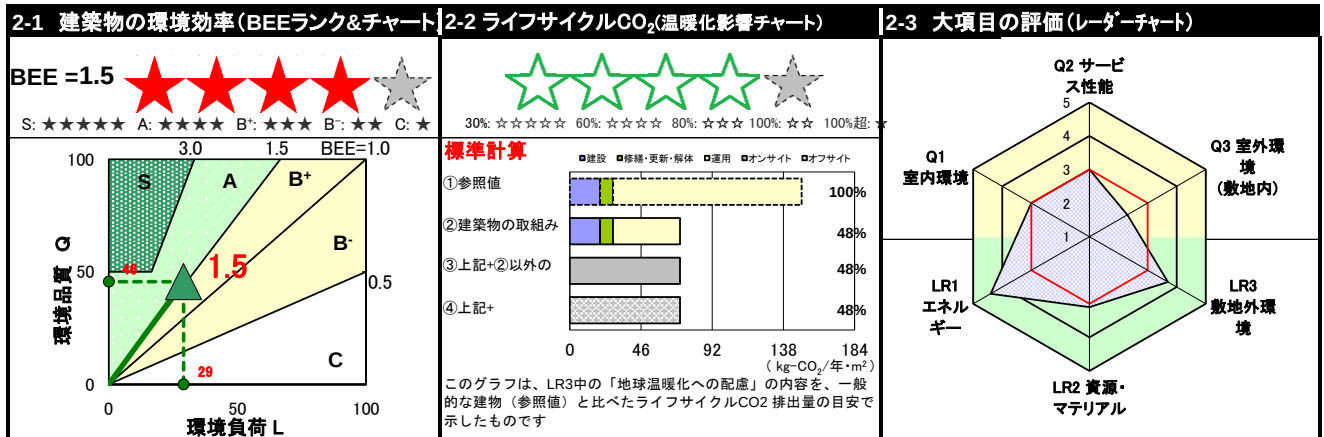
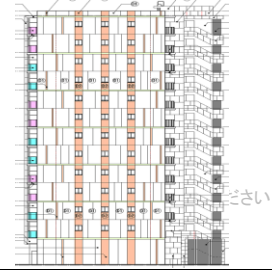
CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島市安佐南区西原二丁目計画	階数	地上13F
建設地	広島県広島市安佐南区西原二丁目2213番1	構造	RC造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2024年12月20日
敷地面積	1,861 m ²	作成者	久保 由希也
建築面積	405 m ²	確認日	2024年12月23日
延床面積	4,135 m ²	確認者	丸本 泰徳



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.6		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 4.0	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.5	「長寿命化対策」の推進 スコア= 2.8
設計の計画段階に配慮した事項 等級4を超える / BEE=0.71 / 節水コマに加えて、節水型便器も採用 No.1 躯体と仕上材が容易に分別可能 No.2 内装材と設備が錯綜せず、更新の際に、容易に取外し可能 / ライフサイクルCO ₂ 排出率79%	設計の計画段階に配慮した事項 /	設計の計画段階に配慮した事項 床: シートフローリング 張 20年 壁: ビニールクロス 20年 天井: ビニールクロス 30年 給水: VP(B)、排水: VP(B)、通気: VP(A)、Eは不使用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される